

群馬工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	化学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	1K002		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	物質工学科		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		4		
教科書/教材	教科書：化学基礎：東京書籍 問題集：リードα化学基礎＋化学：数研出版 図説：最新図説化学：第一学習社						
担当教員	須藤 豊						
到達目標							
☐ 物質の状態（気体、液体、固体）について理解することができる。 ☐ 化学反応と熱・光について理解することができる。 ☐ 電池と電気分解の基礎について理解することができる。 ☐ 化学反応の速さと平衡について理解することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		物質の状態について理解し説明することができる。		物質の状態について理解することができる。		物質の状態について理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		物質工学科における学習での最も基礎になる化学について学習する。					
授業の進め方・方法		座学，講義の進度に応じて視聴覚素材を使用する。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	物質の状態		物質の三態		
		2週	物質の状態		気体，液体間の状態変化		
		3週	気体の性質		気体		
		4週	気体の性質		気体の状態方程式		
		5週	溶液の性質		溶解		
		6週	溶液の性質		希薄溶液の性質 コロイド		
		7週	固体の構造		結晶		
		8週	固体の構造		金属結晶の構造 イオン結晶の構造		
	4thQ	9週	中間試験 化学反応と熱・光		反応熱と熱化学方程式		
		10週	化学反応と熱・光		ヘスの法則 化学反応と光		
		11週	電池と電気分解		電池		
		12週	電池と電気分解		電気分解		
		13週	化学反応の速さ		反応の速さ		
		14週	化学反応の速さ		反応の速さを求める条件 反応のしくみ		
		15週	化学平衡		可逆反応と化学平衡 平衡の移動		
		16週	水溶液中の化学平衡		電離平衡 塩の水への溶解		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0